

炎症性腸疾患患者に対し適切な医療を提供するための 医療従事者への教育プログラム 日本炎症性腸疾患学会／ファイザー 公募型 医学教育プロジェクト助成

一般社団法人日本炎症性腸疾患学会は、革新的な教育および変革戦略を実行するため、ファイザーと提携契約を締結しました。

日本炎症性腸疾患学会は、「潰瘍性大腸炎およびクローン病などの炎症性腸疾患の病因・病態、治療法に対する研究促進を行い、患者の QOL 向上に寄与する」ことを目的とし、医療従事者が適切な標準治療を実践して患者のアウトカムを改善することを可能とする質の高い教育および変革マネジメントプロジェクトを推進することに関し、ファイザーと同じ目標を掲げています。

ファイザーの Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体が立案・実行するプロジェクト（ファイザーが注力する 疾患領域における研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト）を支援します。

この医学教育プロジェクト助成は、医療現場において生じているナレッジギャップやプラクティス・ギャップ（医学的・科学的知識はあるけれど、実際の診療や看護などの実践・行動に移せていない、またはその実践・行動が普及していない）や、“クオリティ・ギャップ”（医学的・科学的知識はあり、実際の診療や看護など、実践・行動はしているけれど、良い結果・成果が得られない）を埋めるためのプロジェクト、すなわち、医療従事者の行動を変革するプロジェクトに対し、助成金として支援するものです。

助成金支援の対象となるプロジェクトについての具体的な内容や、審査／承認のスケジュール等は、本公募内に掲載しています。プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。

会員のみなさまのご応募をお待ちしております。

・ファイザー株式会社 公募サイト

https://www.pfizer.co.jp/pfizer/independent-grants/medical_education_project.html

・教育助成プログラム 公募要項

https://www.pfizer.co.jp/pfizer/independent-grants/docs/QI_RFP_II_JSIBD_2023_J.pdf